

【令和6年度 美術科授業改善推進プラン】

美術科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

- ・造形を捉える多様な視点もち、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる。
- ・発想や構想と鑑賞の双方に働く中心となる考えを理解し、それと関連させながら考え、判断し、表現することができる。

学習状況及び課題

	1 学年	2 学年	3 学年
学習状況	・課題に対して、見通しをもって作業に取り組むことができない生徒が多い。 ・道具使用の経験不足による、効率的な道具の使用や片付けができない生徒が比較的多い。	・課題に対して、見通しをもって作業に取り組むことができない生徒が多い。 ・表現技能が、イメージしていることに追いつかず、早い段階で作品の質の向上をあきらめてしまう生徒が多い。	・造形活動にのびのび取り組む生徒が多い。 ・見通しをもって作業に取り組むことができない生徒が多い。 ・表現技能が、イメージしていることに追いつかず、早い段階で作品の質の向上をあきらめてしまう生徒が多い。
指導上の課題	・授業のねらいを分かりやすく短い時間で示し理解させる。 ・振り返りの質を高め、習慣的に行えるようにすること。	・授業のねらいを分かりやすく短い時間で示し理解させる。 ・振り返りの質を高め、習慣的に行えるようにすること。	・課題の取組時に造形的視点を意識させること。 ・表現に工夫を加え、よりよくする意欲と自信をもたせること。

改善プラン

	1 学年	2 学年	3 学年
学習面	・共通事項を大切にし、造形的な視点を意識させる。 ・鑑賞が発想や構想と連動する授業構成にする。 ・ワークシートで振り返りの時間を確保し、見通しをもって取り組むことを意識させる。	・発想を広げるために、学習者用端末を資料として活用させる。 ・造形的な視点を示し、その視点から自他の作品の鑑賞を行う。 ・鑑賞が発想や構想と連動する授業構成にする。 ・ワークシートで振り返りの時間を確保し、見通しをもって取り組むことを意識させる。	・発想を広げるために、学習者用端末を資料として活用させる。 ・造形的な視点を示し、その視点から自他の作品の鑑賞を行う。 ・ワークシートで振り返りの時間を確保し、見通しをもって取り組むことを意識させる。
指導面	・授業のねらいを明確に示し、理解させる。 ・準備、片付けを効率化し、作業時間を可能な限り増やす。 ・ワークシートで授業の振り返りの記入することで気づき、質を高める。 ・学習者用端末の利点を生かした鑑賞授業を行う。	・授業のねらいを明確に示し、理解させる。 ・準備、片付けを効率化し、作業時間を可能な限り増やす。 ・展示発表により造形的視点から良いところや工夫点を気付かせる。 ・ワークシートで授業の振り返りの記入することで気づき、質を高める。 ・学習者用端末の利点を生かした鑑賞授業を行う。	・発想を広げ、イメージの明確化を図るための学習者用端末資料を活用させる。 ・自作品の解説をすることで客観的に作品の鑑賞を行わせる。 ・ワークシートで授業の振り返りの記入することで気づき、質を高める。 ・学習者用端末の利点を生かした鑑賞授業を行う。

評価

- ①授業アンケート結果による達成度評価
- ②定期テスト観点別学習状況による評価
- ③学習プリント及び作品